

# 議会だより

平成27年  
11月1日  
発行

第24号



↑天王川公園の紅葉 (榎本尚登さんから提供)

※議会だよりは、3月・6月・9月・12月の年4回の定例会、また、必要に応じて開催される臨時会の内容を中心に編集しており、2月・5月・8月・11月に発行します。

## お知らせ

表紙に掲載する写真や絵、イラストを募集しています。市役所5階議会事務局へお持ちいただくか、郵送でお待ちしております。

## 目次

- 議決結果・議案に対する賛否一覧…………… 2
- 議会レポート/議案に対する討論…………… 3
- 一般質問…………… 4
- 委員会レポート…………… 13
- 平成27年第4回定例会の予定…………… 16

# ◎平成27年第3回津島市議会定例会 議決結果

- ★議案第57号 津島市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について……多数で可決
- ★議案第58号 津島市職員の退職手当に関する条例及び津島市職員の再任用に関する条例の一部改正について……全員で可決
- ★議案第59号 津島市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について……多数で可決
- ★議案第60号 津島市個人情報保護条例の一部改正について……多数で可決
- ★議案第61号 津島市手数料条例の一部改正について……多数で可決
- ★議案第62号 津島市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について……全員で可決
- ★議案第63号 津島市立図書館の設置及び管理に関する条例の一部改正について……全員で可決
- ★議案第64号 平成27年度津島市一般会計補正予算(第2号)について……多数で可決
- ★議案第65号 平成27年度津島市介護保険特別会計補正予算(第1号)について……全員で可決
- ★議案第66号 平成27年度津島市流域関連公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について…多数で可決
- ★議案第67号 平成27年度津島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について……全員で可決
- ★議案第68号 平成26年度津島市上水道事業会計未処分利益剰余金の処分について……全員で可決
- ★議案第69号 平成26年度津島市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について……全員で可決
- ★議案第70号 平成27年度津島市一般会計補正予算(第3号)について……全員で可決
- ★認定第1号 平成26年度津島市一般会計・各特別会計歳入歳出決算の認定について……多数で認定
- ★認定第2号 平成26年度津島市民病院事業会計決算の認定について……全員で認定
- ★認定第3号 平成26年度津島市上水道事業会計及び下水道事業会計決算の認定について……全員で認定
- ★議員提出議案第10号 津島市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について……全員で可決
- ★議員提出議案第11号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書……全員で可決
- ★議員提出議案第12号 地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書……多数で可決
- ★請願第5号 被爆者健康管理手当の支給を求める請願……全員で採択
- ★請願第6号 さらなる年金削減の中止を求める意見書を国に提出することを求める請願……少数で不採択

◎開かれた議会を目指す取り組みとして、議員がどの議案に賛成したか、反対したかを一覧表にして掲載しています。

## 平成27年第3回定例会【議案に対する賛否】 賛成:○ 反対:×

議案番号	新市民クラブ						改革クラブ				青風会			共産党議員団		公明党つしま		無党派		無党派		無党派	
	日比野郁郎	西山良夫	長尾日出男	加藤哲司	安井貴仁	服部哲也	後藤敏夫	加藤則之	沖廣	垣見啓之	大鹿一八	上野聡久	山田真功	伊藤恵子	太田幸江	本議長 田雅英	森口達也	垣見信夫	宇藤久子	小山高史			
57	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	○	○	○	○			
59	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	○	○	○	○			
60	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	○	○	○	○			
61	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	○	○	○	○			
64	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	○	○	○	○			
66	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	○	○	○	○			
認定1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	○	○	○	○			
議員提出12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	○	○	○	○			
請願6	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	—	×	×	×	○			

※議長は採決に加わっておりません。 ※全員が賛成した議案は記載を省略しています。



### 第3回定例会

8月31日から9月29日まで開催し、7日と8日の2日間17人の議員による一般質問を行いました。

今定例会では、議案14件、認定3件、議員提出議案3件を可決しました。また、請願2件のうち、1件は採択、1件は不採択となりました。

#### 議案に対する討論

**議案第57号**  
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定

##### 《反対討論》

日本共産党議員団 伊藤恵子

マイナンバー法の施行令では個人情報保護法で国側はあらゆる情報を秘密にするのに、国民の個人情報はずべて裸にされる仕組みが進むので反対。

## 議会レポート

##### 《賛成討論》

新市民クラブ 西山良夫

現在、年金・保険・税金・住民票等、す

べての番号は、バラバラに管理され、縦割り行政方式で、非効率である。導入後は、利便性の向上と職員の負担軽減、時間外勤務の短縮も可能であるが、取り扱いには慎重を期し、賛成。

公明党つしま 森口達也

情報漏えい事件の対策は、制度面とシステム面から対策を取る。行政や市民生活にとって公平・公正な社会、利便性の向上に重要なマイナンバー制度を進めるために、きめ細かな社会保障が確に行われる条例制定である。

##### 議案第62号

公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正

##### 《賛成討論》

宇藤久子

地域特性を活かしたコミュニティの実現に寄与し、引き続きの利用についても配慮がなされており、地域のコミュニティが施設を運営することにより、市民により身近な施設となると思い賛成。

##### 議案第64号

一般会計補正予算(第2号)

##### 《反対討論》

日本共産党議員団 伊藤恵子

観光スイーツアイデア全国公募・商品化事業は地元活性化につながるのか疑問である。個人番号通知は、DVや児

童虐待の被害者、施設入所者等「受取人不在」で通知が届かない恐れや手渡しによる混乱が懸念されている。

##### 《賛成討論》

改革クラブ 加藤則之

観光スイーツ商品化事業は、商工会議所でも試みたが、難しい。専門家のプロデュースで商品化し磨き上げること、また観光センター改修も、今こそ観光の重要施設として機能発揮できるように期待し賛成。

小山高史

観光スイーツの全国公募事業は、約1000万円の予算の半分が市民の税金として投入される。税金の無駄遣いと懸念があるが、市内外の店舗との連携を行い、行政が最後まで責任を持って取り組んでいただきたい。

##### 議案第66号

流域関連公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

##### 《反対討論》

日本共産党議員団 太田幸江

市内全域の汚水処理となりえていないこと、広域のため災害時に寸断のおそれがあること、加入率が悪ければ将来に大きな負担を残す心配があること。これらの理由で当初からこの事業に対案を示して反対している。

認定第1号  
平成26年度一般会計・各特別会計歳入歳出決算の認定

##### 《反対討論》

日本共産党議員団 伊藤恵子

予算を計上しながら執行されなかった不用額は4億5900万円余。予算編成に問題があるのでは。全体として市民の暮らしより市の財政さえ安定すればよいという予算執行であり反対。暮らしの支援で財政安定化を図るべき。

##### 《賛成討論》

新市民クラブ 安井貴仁

医療技術の進展とともに、年々国の医療費も増大する中、一定割合の負担はやむを得ない状況である。26年度は収納率も向上しているとのことであるから、公平性の面からも、より一層の未納者の減少に努めていただきたい。

改革クラブ 後藤敏夫

一般会計は、継続事業や新規事業のホームページ再構築、共同調理場建設、つしま夢まちづくり事業やユネスコ登録に合わせて津島市の活性化、再生に必要な事業が実施されており、特別会計は目的にそって事業が行われている。

小山高史

特別会計は、地方財政法の遵守の観点から適切な会計処理により、なるべく一般会計に頼らず、市民の税金投入

を控えて頂きたい。子ども医療費の無料化拡大は来年度に実現することを要望して賛成する。

**認定第2号  
平成26年度市民病院事業会計  
決算の認定**

《賛成討論》

改革クラブ 後藤敏夫

市民病院は『病院経営ビジョン』を策定し事業運営をされている。医療機器の活用や外来患者、救急患者等に万全な対応を行い病床稼働率を高めると共に、医療・介護・在宅の中心施設として健全に運営されることを期待する。

公明党つしま 森口達也

患者目線での医療サービスの提供、市長は設置者として経営の全責任を負う自覚で責務を果たしていただきたい。病院として院内で経営の主体者として経常収支黒字化へ突き進むことを強く要望する。

**請願第5号  
被爆者健康管理手当の支給を  
求める請願**

《賛成討論》

垣見信夫

70年前の原子爆弾により生命を奪われたり、生涯癒すことのできない傷跡と後遺症を患った人々は、生ある限り核

兵器の廃絶と戦争の放棄を訴えている。平和行政と平和の尊さを永続的に語り継いでいくことは最重要である。

**請願第6号  
さらなる年金削減の中止  
を求める意見書を国に提出  
することを求める請願**

《賛成討論》

日本共産党議員団 太田幸江

これ以上年金が下げられたら暮らしにはいけない。毎年のように下げられる中で年金者の悲痛な声が上がっている。若い人の間にも老後の不安が広がっている。新たな改悪で今後30年間も下げ続けられようとしている。

小山高史

世代間格差が広がる中で、更に年金がカットされることは我々20代30代の世代にとって厳しい状況である。抜本的な解決策として厚生年金と国民年金の一元化等に早急に取り組んで頂きたい。



一般質問



改革クラブ 沖 廣

地域福祉に関して

質問

コミュニティソーシャルワーカー制度の活用については。

健康福祉部長

福祉制度やサービスの狭間に位置しており、必要な支援が受けられない方を様々な地域の主体（行政・民間・地域・個人等）が協働で支援していく方策としては有効である。

質問

地域福祉を推進するためには、社会福祉協議会との連携が、不可欠だと思いが今後の進め方は。

健康福祉部長

地域福祉の推進は、市単独で実現できるものではない。様々な人や団体等の連携・協力が不可欠。その中でも社会福祉協議会との連携は重要である。今後の取り組み方針を、お互いに議論しながら、その目標、手法、スケジュール等を共有し、同じ方向性、同じ歩調で地域福祉を推進していきたい。

職員人事に関して

質問

異動についての見解は。

市長公室長兼会計管理者

若手は、幅広く経験することも、質の高い行政サービスを提供するために必要と考え3年～5年で異動させているが、専門的業種については長く勤務することもある。

質問

異動による時間外勤務の増加や市民サービスの低下に繋がらないよう部署の業務の見直しについては。

市長公室長兼会計管理者

外部委託化や、効率化、合理化、職場環境の改善及び人材育成など様々な角度から見直しをしていく。

東公園一帯の整備に関して

質問

屋外トイレを、障がい者・高齢者が利用できるように改修できないか。

建設部長

老朽化が進行しており、改修やバリアフリー法に基づいた公園の段差解消などの整備は必要。今年度より、計画的な維持管理を行うため、都市公園施設長寿命化計画を策定中である。



公明党つしま  
森口達也

### 地方版総合戦略策定について

#### 質問

各地域の人口動向や産業実態を踏まえ、2015年から5か年の政策目標、施策を策定となっているが、その前提として現状を認識する必要がある。今年度中に策定だが、進捗状況と今後の取り組みやスケジュールは。

#### 市長公室長兼会計管理者

策定に当たっては、多くの方々の意見を伺いながら進めている。今後のスケジュールについては、学識経験者や産業界、行政、教育、金融各機関、労働関係者、メディアなどで構成する策定委員会を開催し、アンケート調査や未来創造ワークショップでの意見などを踏まえながら策定していきたい。

#### 質問

この総合戦略を策定するに当たり、どの分野に特に力を入れていくのか。

#### 市長公室長兼会計管理者

人口減少を抑制し、出生数の増加を図るとともに、定住の促進を図る施策が必要である。また、尾張津島天王祭や

津島神社といった地域資源の魅力を活かして交流人口の増加に努め、雇用の確保についても検討する。

### 子育て支援センターの運営について

#### 質問

豊後高田市では、過去に支援センターに預けていた保護者がスタッフとして運営に係わっているが、今後、豊後高田市のようにNPO法人化をして運営をすることは可能であるか。

#### 健康福祉部長

市内には保護者の方による子育てサークルの登録が14ある。そのサークル活動を継続していただくような形で何か支援ができないかと考えている。

### 障がい者の本庁舎内での物品販売

#### 質問

市役所の本庁舎内で、物品販売を行うっていくことは、障がい者施設利用者の就労への道が開けると思うが、見解はどうか。

#### 市長

いろいろな面で側面的なバックアップができる、いいのではないかと考える。本庁舎での物品販売も意見をまとめながら進めていきたい。



小山高史

### 市民病院の経営状況

#### 質問

県内にある19の自治体病院のうち26年度の決算見込みで赤字の病院は11ある。市民病院は下から数えて4番目だが、資金繰りの状況は。

#### 市民病院事務局長

県内の自治体病院で資金不足が発生している病院は、市民病院のみである。

#### 質問

26年度は、純損失24億6000万円、経常損失4億8000万円であったが、会計基準変更の影響もあり、変更前の基準に当てはめると赤字額は。

#### 市民病院事務局長

会計制度変更前の基準で、経常損益は8億3000万円の赤字である。

#### 質問

市長は、市民病院長や他自治体の病院長も参加した経営改革評価委員会で見解を一切言わなかった。市民病院問題への取り組み姿勢があまりにも弱く、想いが無いのではないかと考えるが、な

ぜ発言をされなかったのか。

#### 市長

委員の皆さまから意見を聞く場だと考えていたので、真摯に意見を聞き、施策に反映するという意味で委員会での発言を行わなかった。

### まつり会館建設の中止を求める

#### 質問

まつり会館建設により、市民は20億円の借金を背負う。市民病院の赤字問題もあり、もしそれを行ってしまうと、市民はパンクしてしまう。50年後まで住む子ども達、まだ見ぬ孫たちのためにも建設中止の明言をするべきではないか。

#### 市長

まちづくりは、1年2年でできるものではない。10年20年かかるものなので、私の思いで、市民の意見を聞きながら、まつり会館建設という夢をかなえていきたい。その感覚である。



▲まつり会館のイメージ画(外観)



宇藤久子

防災対策に関する件

質問

避難勧告等の発令、判断基準について、どのような方法で市民に周知するのか。また、避難所はどこになるのか。

市民協働部長

日光川の水位が避難判断水位に達し、さらに今後も水位が上昇すると予想されたときに避難勧告を発令する。氾濫危険水位に達し、さらに今後も水位が上昇すると予想されたときに避難指示を発令する。市民への情報提供手段は、防災ほつとメール、テレビ、ラジオ、市ホームページ、広報車等により情報発信する。避難所は、状況に応じて先行開設避難所以外にも開設する。

質問

避難所に明かりを提供できるソーラー照明の活用はどうか考えているのか。

市民協働部長

ソーラー照明等の整備については、一つの手段であると認識している。調査・研究していく。

質問

民間の避難ビルの指定について、市の取り組み状況はどうか。

市民協働部長

民間企業の協力を得て、一時的な避難場所として利用できる協定について、昨年度までに18の企業等の協力を得て、20施設を確保できている。

質問

ハザードマップの最近の配布状況はどうなっているのか。

市民協働部長

当市への転入者については、転入手続の際に市民課からハザードマップを渡している。今年度、ハザードマップを更新し、避難所一覧及び民間企業等、協力が得られた一時的な避難場所も掲載したものを年度内に配布する。

質問

避難時に職員より早く避難所へきた人が鍵をあけて入れるように、避難所防災ボックスの設置をしようとしているのか。

市民協働部長

設置されている自治体等の状況等、調査・研究していきたい。避難所防災ボックスは、一つの手段であると認識している。



青風会  
上野聡久

まじり会館について

質問

まじり会館の維持を含めた建設にかかる経費はどれほどか。

市長公室長兼会計管理者

施設の建設費が約19億3000万円、建設後15年間の維持管理運営費が約10億6000万円である。

質問

建物の中に、まきわら船をいれたいとのことだが建物の想定の高さは。

市長公室長兼会計管理者

25mを予定している。

質問

建物の大きさが1850m。高さが25m。市役所と、ほぼ同じ大きさではないか。いつ建設しようとしているのか。

市長公室長兼会計管理者

ユネスコ無形文化遺産に登録見込みの来年の秋が大事な時期と考えている。

質問

これを建設することで住民サービスや福祉サービスが低下するのでは。

総務部長

財政状況は非常に厳しい状況であるが、現在行っているサービスは、基本的には継続して進めていかななくてはならないと考えている。

質問

ハコモノに頼る時代は終わった。明らかに市にとって過剰投資。撤回する考えはないか。

市長

観光拠点施設の建設に取り組んでいく。経済効果も非常に大きいと思う。

防災について

質問

家具転倒防止金具取付事業は、非常にいい事業。もっと市民に広めるためにシティブロモーションとの連携を進めるべきでは。

市長

行政経営会議などでもっと広めるように話をしている。限られた時間であるがやっていきたい。

その他の質問

・企業誘致について



改革クラブ  
垣見啓之

### 都市計画に関する件

#### 質問

都市計画マスタープランの目的、概要は何か。

#### 建設部長

都市計画の総合的な指針で、都市の将来像や土地利用を明らかにするものである。津島市のマスタープランは、平成21年10月に策定され、目標年次を平成32年に設定し、全体構想と地域別構想で構成されている。

#### 質問

都市計画道路のうち、名古屋津島線、昭和南本町線、天王通線の整備状況は、

#### 建設部長

名古屋津島線は、本町3丁目を含む未開通区間のうち用地進捗率は73%で県と協力して用地買収を行っている。昭和南本町線は用地進捗率81%で、天王通5丁目交差点の改良工事を行うための詳細な図面の作成を行っている。天王通線については事業実施はなされていない状況である。

## 一般質問

### 地域の安心・安全に関する件

#### 質問

防犯カメラの設置状況と今後の設置計画はどうか。

#### 市民協働部長

津島駅東側の駐輪場に2台設置しており、今年度中に2台の増設を予定している。市の施設では神守中、天王中、藤浪中、市民病院、神守配水場などに設置している。町内会では、下春日台自治会が団地内に5台設置している。

#### 質問

防犯灯の設置状況は。

#### 市民協働部長

町内会が津島市防犯協会から補助を受けて設置しているもので平成25年度の設置件数は40件で、そのうちLED灯は21件。平成26年度は32件ですべてLED灯である。

### 教育現場の活性化の件

#### 質問

元気な教育をアピールするひとつに部活動があると思うがどう考えるか。

#### 教育長

部活動を含め、教育が元気なまちづくりについて、賛成である。



新市民クラブ  
服部哲也

### 神守地区のまちづくりの件

#### 質問

日光川東地区で行われている、または進めているまちづくりの施策、計画はどのようなものがあるか。

#### 建設部長

名鉄青塚駅周辺では、駅周辺の土地利用、立地ポテンシャルを活かした土地利用が検討されている。神守地区は、地区計画制度を活用し、この用途地域の変更に向けての協議と周辺環境と調和した新たな企業の誘致が図れるよう検討している。

#### 質問

農業振興施策、農地保全施策等も立派なまちづくりであり、水害の拡大を防止するためにも、防災機能を有する農地の保全は必要な施策では。

#### 建設部長

防災の観点からも農地の保全は極めて重要で、排水路、排水機場などの土地改良施設の整備・改修等も農地保全及び防災の観点から必要不可欠な事業だと考えている。

#### 質問

土地改良区は、必要な団体だと考えているが、行政としてどのような見解をもっているか。

#### 建設部長

今後も行政と土地改良区は互いに情報を共有し、共存共栄しながら地域の安全確保に努めていきたい。

### 神守地区の土地利用の件

#### 質問

神守地区の地区計画制度の概要と進捗状況はいかがか。

#### 建設部長

平成28年4月1日の都市計画決定を目標に準備を進めており、計画に沿って地区内に公園整備等の施設整備を順次進めていく。

### 社会教育の件

#### 質問

市の文化財保護と、歴史・文化遺産を学ぶ社会教育に対する見解を。

#### 教育委員会事務局長

文化財の魅力や価値、また郷土の歴史や文化を知る学ぶ機会を設けていくことは、非常に重要な取り組みであると考えている。



日本共産党議員団  
**伊藤恵子**

**地方創生の本質・課題を見極めて**

質問

地方創生予算の重点化、地方交付税制度そのものが見直されるが、国庫支出金の状況と来年度の見通しはどうか。

総務部長

地方創生関連の需要額は増加したが、地方財政計画における地方交付税総額の減少や他の算定項目等における増減の影響で、普通交付税は2000万円の減額となった。来年度も2%の減額が見積もられている。

質問

交付金は全額国費というが場当たり的であり、子ども医療費無料化、住宅リフォーム助成制度などに活用している自治体もあり、市民目線が必要では。

市長

写真コンテストの賞金100万円もすべて国からの地方創生。いろんな方に来ていただき、写真を発信していただいて、様々な形で回っていく事業。対象となる事業は職員が知恵を絞った、市の将来のための事業である。

**ショートステイの利用料が倍に**

質問

8月から施設利用者は、資産まで調べられ、所得が少なくても預金などがあると軽減措置が受けられなくなり、これまでどの倍ほどの利用料負担となる。

また一定所得以上の人は、介護利用料が2割に引き上げられた。負担増による高齢者の生活実態を把握すべき。施設利用軽減の申請には預金通帳の写しなど、困難な人もいるがどう対応しているか。また、預金などが基準を下回った時には軽減対象になるのか。

健康福祉部長

利用料が2割になった方は244人。請求は2か月後なので現時点では状況を把握していない。施設利用の軽減申請は563人中440人で、認定者数は434人。未申請者にはケアマネジャーとの連携を取り、申請していただくよう努める。年度途中で資産が基準以下になった場合は、再申請により軽減の認定を受けることができる。

**国民健康保険税の軽減を**

質問

子どもの均等割軽減を実施すべきではないか。

健康福祉部長

国の動向を見守りたい。



日本共産党議員団  
**太田幸江**

**不登校児童・生徒について**

質問

子どもにとって一番身近な存在である先生が大変忙しい。その実態をどのように捉えているのか。

教育長

多忙化の原因は多岐にわたると考える。教職員の定数改善の要望、事務の軽減など多忙化解消に努めている。

**就学援助制度の充実を**

質問

市の就学援助では給食費の支給額は実費の70%であるが、県下の自治体は、ほとんど100%支給している。市が100%支給すると予算の増額はどのくらいになるか。

教育委員会事務局長

約1000万円の増額が見込まれる。

質問

就学援助費の100%支給を早期に実現すべきと考えるがどうか。

市長

今のところ考えていない。

質問

市の支給回数は9月と3月の年2回。新学期はやりくりが大変。支給回数を3回に増やすべきではないか。

教育委員会事務局長

現在の支給方法を継続する。

**小・中学校のエアコン設置について**

質問

エアコン設置に関してこれからどのような計画で実施するのか。

市長

今年度導入した扇風機の効果を検証した上でエアコン設置をどのように進めていくか検討する。

**教科書採択について**

質問

「日本は正しい戦争をした」と教える育鵬社と自由社の教科書を採用してはいけないと考えるがどうか。

教育長

教育基本法でいう教育の目的は、平和的な国家及び社会の形成者の育成にある。教科書採択に当たっては、適切、公正に採択する必要があると考える。



改革クラブ  
後藤敏夫

### 公職選挙法改正に関する件

#### 質問

投票権が18歳以上に引き下げられた。児童や教員の指導について教育長の対応と中学校において政治・選挙への関心を深めるための仕組みづくりは。

#### 教育長

県教育委員会の指導の方向を参考に。政治的に中立の立場の指導に留意、教材・発言は慎重に考え取り組むよう指導する。政治・選挙への関心を深める機会は、学校の現状とも合わせ検討していきたい。

#### 質問

この選挙法改正について市の啓発・周知についてどのように行うか。

#### 総務部長

法が施行される平成28年6月に向けて「市政のひろば」やホームページに特集ページの掲載を予定している。

### 空き家対策に関する件

#### 質問

協議会の設置、対策計画の策定や特定空き家に対する指導、命令等行政手続きについてどのように考えているか。また空き家の利活用に対して補助金の交付などサポートについての考えは。

#### 建設部長

対策計画策定に向け協議会を設置する予定。協議会の設置は、市町村長、地域住民の代表、市議会議員、学識経験者等で来年度当初の発足を目指す。特定空き家に対する勧告等の措置の実施は来年度中と考えている。空き家の利活用補助金は空き家再生等推進事業の活用、特措法施行に伴う新たな補助金等を検討して進めていきたい。

#### 質問

速やかに対策をとるため専門職員必要性、市の取り組み体制はどうか。

#### 副市長

建設部を中心として庁内会議をスタートしている。そこで事柄に即応的に対応すると同時に問題を発生させないような仕掛けも検討していく。

### その他の質問

・教育に関する件



改革クラブ  
加藤則之

### 魅力あるまちづくりと観光行政

#### 質問

今回、歴史・文化を活かしたまちづくりのために、委託した基本調査では、どのような調査がされたのか。

#### 市長

地域の特色を活かしたまちづくりの基本方針や地域活性化による施策展開の在り方を検討することを目的に、ヒヤリング調査やタウンミーティングなどによる現状分析と方向性を施策案として検討した。

#### 質問

5か年の『歴史・文化地区再生整備計画』は、多くの市民を巻き込んだ、合意形成のもとでの事業が大前提でなければならぬと思う。改めて、この整備計画の概要はどうなっているのか。

#### 市長

国の交付金を活用し、歴史・文化を活かした各種施策を取り入れている。具体的には、道路美装化・小路整備事業や山車蔵等基本デザイン、町家等の修景・復元費助成事業、観光案内板整備事業、

ポケットパークやトイレ、観光拠点施設の整備事業などをすすめる予定。必要に応じ計画を見直しながら事業を進める。

#### 質問

まちが大きく動き始めようとしている時は、まず、行政が中心的な役割を担い、官民一体となつてのまちづくりになつていくことが最も大切ではないかと思うが、見解はいかがか。

#### 市長

地域住民、各種団体、NPO、行政を含めた協働による展開が不可欠である。自治の担い手である自治体職員や市民、各種団体などが連携・協力し、地域に根差した発想力で、地方創生のアイデア事業も進めている。また、「つしま夢まちづくり提案事業」を通して、個性ある活動が数多く始まっている。

#### 質問

市のまちづくりに関しては、今後数々の施策が打ち出されている。市長の強い思い入れを感じるがどうか。

#### 市長

来年度は市制施行70周年であり、ぜひ『愛知県観光交流サミット』を誘致したい。多くの人に来て頂き、当市の魅力を発信し、イベントにもつなげ、すばらしい津島を今後とも目指していきたい。



新市民クラブ  
西山良夫

高齢者介護施策に関する件

質問

高齢者介護の課題と高齢者福祉・介護保険計画の基本的な方針は。

市長

市では地域包括ケアシステム構築や介護予防等の事業を充実させるため、いち早く在宅医療連携に取り組んできた。介護サービスの充実、地域の生活支援サービスを提供する体制づくりを進め、介護施策を推進していく。

健康福祉部長

地域にある資源の活用のため、地域包括支援センターなどを中心に、その資源を洗い出し、把握をし、いかにつなげて、高齢者を守るネットワークを構築していくかが重要。北・中・南の3か所の地域包括支援センターは、高齢者の総合相談窓口になっており、中心的な役割を果たしていく。

質問

介護保険制度の問題点について、今回の制度改正の主眼点と市の保険財政の現状と見通し、制度の持続可能性は。

健康福祉部長

改正内容は地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化である。介護保険財政の現状は、平成26年度の歳出で主に介護給付費、決算額40億9000万円。今後の見通しは、要介護認定者数の増加により給付費も増加、平成37年度は55億円を見込む。介護予防事業の充実や給付費の適正化を図り、介護保険制度の持続可能性の確保に努める。

質問

介護を克服するリハビリの効果について、リハビリに不可欠な人材確保は。また、高齢者の尊厳に配慮するケアシステム構築までの課題は。

市民病院事務局長

現在、リハビリ室には理学療法士18人、作業療法士10人、言語聴覚士8人が配置され、急性期病棟では土・日曜日実施、回復期病棟でも今年度中に日曜日も実施する。在宅では来年度からケア病棟に50床程度、転換し、充実を図っていく。

健康福祉部長

在宅復帰してからのリハビリには、訪問リハ・通所リハがあり、日常生活の自立のための機能訓練を行う。地域包括ケアシステムを構築する上で、高齢者の尊厳を保持した支援を念頭におき、その体制づくりをしていきたい。

市民病院の経営について

質問

市民病院に通院する患者の住所別構成はどうか。

市民病院事務局長

入院は、津島市民が2516人で43.6%、愛西市が1291人で22.4%、あま市が1027人、その他が936人で、合計は5770人。外来は、津島市民が1万7088人で45.5%、愛西市が8455人で、あま市が6061人、その他が5985人で、合計3万7589人である。

質問

一般会計から10億円を超える繰り入れをしても赤字の現状を考えると、救急のお断り率は公立病院としてゼロであるべきではないか。

市民病院事務局長

救急車の受け入れは、原則お断りしないという認識をしている。4月から救急対応病床を設置しており、すべて受け入れできるように、今後も救急車のお断りゼロを目指していく。

質問

患者の待ち時間と滞在時間が長いことについて、具体的に改善したことは何か。

市民病院事務局長

診察室と受付側が連携し、遅延状況の説明や案内をしつかり行うよう改善した。丁寧な説明、案内を行うことで患者の不満が生じないようにしたい。

質問

末期がんで歩けない状態でも、看護師は一言も声をかけていない現状もあるが、今後の対応は。

市民病院事務局長

具合の悪そうな患者には、看護師のみでなく、気がついた職員が声をかけていくよう周知を図っていく。

市の下水道事業について

質問

宅内工事の営業活動において、一部の業者が市職員になりすまし強要する場面もある。市職員と業者の区分けが必要に思うがどうか。

上下水道部長

排水設備指定工事店に対しては、市民が不安を感じるような営業をしないよう指導していく。市職員には職員証の提示を徹底させている。



青風会  
山田真功

### 今後の行財政改革について

#### 質問

国民健康保険会計は県下で当市を含めて2市のみが赤字なのはなぜか。

#### 健康福祉部長

県下38市中、20市が単年度赤字。当市を含む2市以外は前年度繰越金や一般会計の繰入などで賄っている。

#### 質問

一般会計の起債残高が平成25年度で約153億7000万円、26年度は約163億6000万円、27年度末の見込み額はいくらか。

#### 総務部長

27年度の一般会計起債残高は約166億4500万円を見込んでいる。

#### 質問

人口減少時代を迎え、高齢化社会での医療費等の扶助費増、公共施設の耐震化などでの起債残高増、職員数の増大は当然、人件費の増につながり義務的経費が占める割合が高くなり財政の硬直化が顕著になる。このようなこと

に対し当局はどのように考えているか。

#### 総務部長

各種財源の確保を図り、不要不急な経費の削減、事務事業の見直し等を一層進め、持続可能な財政運営に向けて努めなければならぬと考えている。

#### 質問

病院について、一番の課題は病床稼働率で直近の稼働率が70%と救急病院ではあり得ない数字である。お金の問題では一時借入金残高15億円、一般会計からの借入残高が13億円。単年度赤字が25年度2億円、26年度が8億円の赤字であるが、市長はどう考えているか。

#### 市長

病床稼働率70%は大変厳しい状況であり、病院職員にはプロ意識と覚悟をもつて対応していただきたい。プロ意識があるならば必ず実行できる。確信をもって見守っている。

#### 質問

財政改革は待ったなしであり、市にもお金がなく、貯金もない、市民病院は大赤字で民間からお金を借りなければ運営できない。このようなことをアクションプラン(津島市財政改革行動計画)の中に含めるべきでは。

#### 市長

提案として受け止めさせていただく。



新市民クラブ  
安井貴仁

### 地方版総合戦略について

#### 質問

まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定において、当市はどのような考え方や方向性で作成していくのか。また、どのような人々を巻き込んでいくのか。

#### 市長公室長兼会計管理者

安心して子どもを産み育てる環境を整備することや、四季の祭り、津島神社を始め町家や町並みなどの貴重な地域資源の魅力を活かしていく。また、総合戦略の策定に当たっては、津島市総合戦略策定委員会を設置し、検討を重ねていく。策定委員会のメンバーは、大学教授を始め津島商工会議所、観光協会、ハローワーク、いちい信用金庫、あいち海部農協、西尾張シーエティーヴィ、子育てやまちづくり関係のNPOの方々により委員をお願いする。

#### 質問

地方創生地方版総合戦略策定のプロセスにおいて産官学金労言のうち労働関係の参画がないように見受けられるが、今後、意見を聴取していくのか。

### 市長公室長兼会計管理者

策定においては、幅広く関係者の意見を反映させる必要があると考えているため、労働団体への意見聴取などについても検討をしていく。

### 市の観光戦略について

#### 質問

観光に対する当局の見解はいかがか。

#### 生活産業部長

数多くの祭りや伝統、文化、芸能が色濃く残されている。また、茶室のある町家も美しさを保つたまま残されており、観光地として魅力を十分備えていると考える。平成28年秋には、尾張津島天王祭のユネスコ無形文化遺産登録を控えており、市としては国内のみならず海外からの観光客誘致も視野に入れ、観光行政の活性化に努めていく。

#### 質問

当市の観光客数は年間おおむね14万人とのことだが、比較対象として日本三大川祭との違いについて調査はしているのか。また、様々な事業が今後どのように収益につながるのかという点は考えているのか。

#### 生活産業部長

分析までには行っていない。



新市民クラブ  
長尾日出男

市の将来の見通しについて

質問

市長公約の5つの成長戦略と積み残しの課題とどのように整合性を図るか。

市長

まちづくりは10年20年先を見越して取り組む必要がある。直面する課題に真摯に取り組むのは当然であるが、まちづくりの投資を総合的に判断しタイミングを逃がさず実行していく。

質問

企業団地が何故誘致できないのか。

生活産業部長

企業団地については、企業や自治体の採算性や投資効果が見込め、一団の土地が必要である。市としては都市計画法第34条第12号を活用し企業誘致をすすめていきたい。

質問

企業誘致に当たり困難な事は。

生活産業部長

企業側が求める土地では、地域の理

解や地権者の同意された用地確保が出来ないケースが多々ある。また市街化調整区域に用地を求める場合には、都市計画法の制限があり、許可できる業種に限りがある。当地域は土地が低く企業への負担などの増大も見込まれ不利な部分がある。

質問

市街化区域を拡大する考えはないか。

建設部長

市街化区域を拡大するには一定の投資基盤、道路・水路の整備、下水道の整備投資が必要である。本市の市街化区域の中には宅地化できる、いわゆる利用されていない土地が80haある。市街化区域の拡大はこの土地を使い切っていくことであり、今のところ市街化拡大は考えていない。

質問

広報紙配布を業者に依頼しポストにポストした場合は経費と町内助成金はどのようになるか。

市長公室長兼会計管理者

年間で約1000万円が掛かる。

市民協働部長

広報紙配布がポストイングになった場合は町内会業務の負担が減る事になるので町内助成金(3159万円余)を減額する場合もある。



垣見信夫

新しい選挙制度について

質問

公職選挙法が改正され、投票権が20才から18才になったが、当市の住民投票では投票ができるのか。

市長

住民投票制度は2種類があり、本市はこの制度が条例化していない。条例制定については、研究をしていく。

質問

投票権が引き下げられたことにより国政や地方自治の基礎が重要になる。小・中学生を対象に子ども議会を開催してはどうか。

教育長

学校には教育課程があり、今年度の開催は難しいので、議場の改修、市長の日程、各学校と調整の上、早い時期に開催したい。

質問

子ども議会が開催されたとき、答弁者として、市長は参加するのか。

市長

公職選挙法改正のPRをするという意味でも大切である。若い人たちの元気な声で討論する機会にしたい。素晴らしい議会にしたいので参加する。

公有地の有効活用について

質問

どろんこクラブ(学童保育)と中央公民館の移転はどのように考えているか。

市長

どろんこクラブの移転に関しては、来年度の当初予算に計上し、西小学校の敷地内に移転する方向で考えている。中央公民館は、これからの話であるが、機能を移転する。児童科学館にすべてを移転するわけではない。市内には多くの公共施設があるので、これを有効利用したい。

質問

市営喜楽住宅および城山耐火住宅の取り壊しの予定は。

市長

喜楽住宅および城山耐火住宅は28年度中に取り壊す予定。城山住宅の集会所は残す予定。喜楽住宅の集会所は一旦取り壊す予定だが、新たな集会所は町内の皆さんと相談していく。

議案第64号  
一般会計補正予算(第2号)

Q 学童保育の予算、蛭間わんぱくクラブの300万円以上の増額、神守つくしクラブの100万円以上減額の理由は。

A 蛭間わんぱくクラブは、基本登録人数の枠の単価変更と、障がい児受け入れによる増額。神守つくしクラブは、当初障がい児加算の予定があったが、受け入れがなかったため減額である。

Q 子育て支援センターが移動し、空きスペースがあると思うが、現在の使用状況はどうか。

A 従来デイサービスを行っていた時の厨房と浴室部分は、倉庫として活用している。

Q 公共施設の使い方としてはいかがかと思う。今後、どのように活用すべきと考えているのか。

## 委員会

A 厨房等の活用は、出入口がないため壁を取り除かなければ難しい、耐震の関係もあり、調査、検討したい。

議案第65号  
介護保険特別会計補正予算(第1号)

Q 額の確定に伴う返還金で、本来一般会計へ戻すべき金額はいくらか。

A 751万3003円である。

Q 国・県に戻すのであれば、市にも戻すべきである。準備基金に積み立てて、第7期の介護保険料の抑制に使うべきと思うがどうか。

A 12月補正で準備基金の積み立てを考える。

認定第1号  
平成26年度一般会計・各特別会計歳入歳出決算の認定

Q 生活保護対象世帯も受給人数も増えており、非常に厳しく調査を行っていると思うが、窓口でしっかり面接をやっているのか。

A 不正受給を増やさないように更に努めていきたい。

Q 保育料の口座振替率を向上させるべきと思うがいかがか。

A 入所申し込みがある際には、必ず口座振替の話をしている、その場で手続を行う保護者の方もみえる。

Q 過去に1件だけ悪質な滞納者を差し押さえした経緯があるが、今後の対応はどうか。

A 保育園の先生から保護者の方に払ってもらおうよと話をするとう効果がある場合もあるが、担当課として、滞納については何とか少なくなるように動いていきたい。

Q 子ども医療費の支払額と件数はいかがか。

A 子ども医療費拡大分を合計すると、扶助費の支払額は2123万円余、件数は1万722件で1件あたり1980円。4年生以上の市単独分は1件当たり2130円。

認定第2号  
平成26年度市民病院事業会計決算の認定

Q 管理課の時間外勤務が増加している理由とその対策、及び時間外勤務の事前確認に対する対応はどうか。

A 職員制度の大幅な変更があり、担当者の業務量が増大した。業務分担の見直し等を行い削減に努める。また、各職員が朝礼・夕礼で業務内容・時間を報告し、時間外勤務の事前確認を行い、情報共有、効率的業務遂行を図る。

Q 薬品の契約方法及び少額器械の購入方法に不適切な事務処理が見られるが、今後の対応は。

A 見積もり同時開封を徹底する。業者提出のUSBメモリ(封入・割印済)を管理課長が金庫で保管をし、開封口を定め、複数職員立ち会いで一斉開封する。少額器械の購入は、十分な価格調査後、複数見積もりを徴収し、同時開封する。

Q 透析機器について、新たに購入したもののなか、それとも今まであった装置を交換したのか。

A 新規購入ではなく、耐用年数(5年)をかなり過ぎていた機器の更新である。

Q 医師からの要望を受けて、検討して機器購入する以上は、導入の効果の裏づけをきちんとしていべき。その積み重ねが全部収益につながる経営改善となる。費用対効果はしっかり考えるべきと思うがいかがか。

A 費用対効果を十分精査し購入する。請願2件の内1件採択、1件不採択



議案第62号  
公民館の設置及び管理に  
関する条例の一部改正

Q 神守公民館をコミュニティ推進協会の拠点施設として移管できるようにするものであるが、地元の要望が強かったのか。

A コミュニティの施設として活用していきたいという要望があった。

議案第63号  
市立図書館の設置及び管理に  
関する条例の一部改正

Q 神守公民館内に置かれていた図書館分室を生涯学習センターに移転するための条例であるが、移転場所は。

A 現在、ロビーがある部分を改修し、移転する。

Q 移転するに当たって、本を増やす計画はあるか。

A 面積が若干広くなると、子育て支援センターも同じ場所になるため、蔵書数も徐々に増やしていきたい。

議案第64号  
一般会計補正予算(第2号)

Q 観光案内標識設置工事として、211万円余が計上されているが、今後さらなる観光を見込んで設置するのか。

A さらなる誘客を見込むという部分と、津島の観光の拠点である天王公園、津島神社というのを知っていたために、現在、北(国道155号線)から入ってくる道路に看板がないので、その看板を設置するものである。

Q 尾張津島観光センター改修工事として、670万円計上されているが、工事の内訳についてはいかがか。

A 雨漏りの工事と、外観を修繕するものである。

議案第68号  
平成26年度上水道事業会計  
未処分利益剰余金の処分

Q 上水道事業として、利益が新会計基準の資本剰余金から資本金に計上されたことは地方財政法第7条の観点から見て適切な措置か。

A 剰余金が発生したが、こちらは過去に収納した資本剰余金の減価償却相当額であるので、資本金に組み入れるもの。地方財政法第7条には抵触しない。

認定第1号  
平成26年度一般会計・各特別  
会計歳入歳出決算の認定

Q 合併処理浄化槽設置補助金として、906万円支出され、平成25年度より7基少なく、不用額も221万円余あるが、不用額が多くなっていく要因は。

A 住宅建て替え、新築に合併処理浄化槽を入れられる場合が多いことから、住宅の着工件数に連動している。

Q 住宅用太陽光発電設備導入促進補助金として、567万円余支出され、不用額が232万円余あるが、昨年度よりも減った理由は。

A 既設住宅に太陽光パネルを設置する件数が、昨年度よりも減少している。

Q 合併処理浄化槽及び太陽光発電の、今年度、来年度の見込みは減少する傾向があるのか。

A 減少傾向が続くことが見込まれるので、具体的な内容は、予算編成時まで検討していく。

Q 貸付金として、くらしを育てる資金預託金2000万円、勤労者等住宅資金預託金4000万円それぞれ支出されているが、利用実績については。

A くらしを育てる資金は実績がなく、勤労者等住宅資金は、1件234万円の利用実績がある。

Q 1件だけのために、6000万円も預託することについてどう考えるか。

A 労働者のための制度であり、これを活かしたい。

Q 美術館建設基金積立金について、市長は今後どうするつもりか。

A 美術館建設については、歴史文化のまちづくりの事業の一部として入れている。この基金を利用しながら、美術館建設を実施していきたい。

Q 流域関連公共下水道事業特別会計について、流域関連公共下水道事業基金繰入金として、1562万円余計上されているが、現在の基金残高はゼロである。基金を使ってしまったという状態でよいのか。

A 平成26年度で使い切った。陳情1件は採択

議案第57号  
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定

Q マイナンバー法での手続きだが、子どもの医療に対する事務はどう変わるのか。

A 住民が手続する際に番号を書くことにより、添付書類が不要になり、行政照会が不要になることで効率化される。

議案第59号  
情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正

Q 審査会のメンバーは。

A 顧問弁護士、情報系の大学教授、人権擁護委員、商工会議所副会頭といった方々である。

議案第60号  
個人情報保護条例の一部改正

Q 特定個人情報と保有特定個人情報とは何か。

A 特定個人情報とは、個人番号とそ

れに関連する記号や符号も含めて個人情報ということであり、保有特定個人情報とは、その情報を行政文書として持っている情報のことである。

議案第61号  
手数料条例の一部改正

Q 有効期限が残っている住民基本台帳カードはまだ使えるのか。

A 基本的に住民基本台帳カードは本人確認だけになる。それぞれの施策において使うところはない。

議案第64号  
一般会計補正予算(第2号)

Q 観光スイーツアイデア全国公募・商品化委託料99.3万円余計上されているが、地元の店舗で実際に売れるようにすることが大事では。

A アイデアを商品化するための支援を含めて委託業者には提案していただく。

Q 通知カード・個人番号カード関連事務交付金224.6万円余計上され、個人番号を住民票の住所に郵送するためであるが、いつの時点の住所なのか。

A 10月5日現在である。

認定第1号  
平成26年度一般会計・各特別会計歳入歳出決算の認定

Q 通信指令台共同運用負担金1億2857万円余支出されているが、市の負担率はどれほどか。

A また職員の給料は市町村によって違うのか。

Q 負担率は19.56%である。給料は各市町村の給料手当である。

Q 巡回バス運行委託料256.8万円余が支出されているが、前年度より増額された理由は何か。

A ルート変更に伴うバスの時刻表やバス停の新設に伴う経費として99万円余増額した。

Q ホームページ作成システム借上料172万円余が支出され、更新したことであるが、実績、市民の反応はどうか。

A 平成26年度のアクセス件数は26万3066件で1日平均約720件、27年度は4月1日から8月31日までで、23万5772件で1日平均約1500件とアクセス数が増えていることから、見やすくなったためと感じている。

Q 時間外手当の決算額はどれほどか。

A 一般会計で1億3800万円ほど、国民健康保険・介護保険などの特別会計で1500万円ほどである。

Q 市民無料法律相談委託料77万円余の相談実績は。

A 平成26年度実績は123人。

Q ふるさと応援基金積立金254万円に対し、津島市民が他市へ寄付したことによる税の控除額はどれほどか。

A 200万円ほどである。

Q 収納率は高くなったということだが、6億3487万円余の滞納がある。収納体制はどうか。

A 市税の徴収に特化した職員は8人である。

Q 津島型住宅モデルプラン募集事業委託料299万円余支出されているが、どのように活用するのか。

A 海抜ゼロメートルを意識づけ、パネル展示など広く啓発していく。

## 常任委員会が行政調査視察を行いました

- 7月8日(水)～9日(木) 文教建設委員会(京都府綾部市・福知山市)  
綾部市→「空き家活用定住支援事業について」「都市交流拠点施設運営事業について」  
福知山市→「中心市街地活性化基本計画について」
- 7月28日(火)～29日(水) 総務協働委員会(京都府京丹後市・亀岡市)  
京丹後市→「地方創生について」  
亀岡市→「亀岡市景観計画について」「亀岡市景観条例について」
- 8月6日(木)～7日(金) 厚生病院委員会(大阪府豊中市・奈良県生駒市)  
豊中市→「豊中市地域福祉計画について」  
生駒市→「地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みについて」

## 本会議映像インターネット配信が9月から始まりました

平成27年第2回定例会を最初に、本会議(定例会・臨時会)の様子が、インターネットを利用して視聴できるようになりました。録画配信は、会議の翌日から起算して、おおむね7日から10日後(土曜、日曜及び国民の祝日等を除く)からご覧いただけます。

是非、市ホームページの「市議会」からご覧ください。

**平成27年第4回定例会は11月30日(月)  
～12月25日(金)までの開催予定です。  
議会の傍聴にぜひお出かけください。**

- ★会議は午前9時から開催します。
- ★日程は、変更になる場合があります。
- ★詳しくは議会事務局へお問い合わせください。



☆11月30日(月)開会

☆12月 7日(月)一般質問

☆12月 8日(火)一般質問

☆12月 9日(水)一般質問(予備日)

12月11日(金)厚生病院委員会

12月14日(月)文教建設委員会

12月15日(火)総務協働委員会

12月16日(水)委員会(予備日)

12月17日(木)委員会(予備日)

☆12月25日(金)閉会

☆印は、クローバーTVの生中継及び夜7時からの再放送を予定しています。

**編  
集  
後  
記**

平成27年第3回定例会(9月議会)を終え、季節の移り変わりを肌身で体感できるようになりました。

今定例会では、26年度決算や各議案について、各議員が、活発な議論を展開して参りました。

歴史と伝統のある津島市を、輝ける未来に向けてのために議員・市当局が一丸となって、各種問題に取り組んで参ります。

また本年度議会報告会を、去る10月17・18日に各小学校区において開催いたしました。いただいた貴重なご意見は、十分検討させていただきます。

今後、市政発展のために尽力いたしますので、どうぞ宜しく願います。

**議会だより編集委員会**

◎小山高史 ○垣見啓之  
大鹿一八 森口達也  
安井貴仁 太田幸江  
服部哲也

◎委員長 ○副委員長

議会だよりは、津島市議会の責任において発行しています。

**次号は、2月に発行予定**